



令和3年1月25日

南丹市長 西村良平 様

南丹市ケーブルテレビ事業の  
在り方審議会

会長 井上 あい子



南丹市ケーブルテレビ事業の今後の在り方について（答申）

令和2年10月22日付け2南地情第130号で諮問された「南丹市ケーブルテレビ事業の今後の在り方」について、慎重に審議した結果、別添のとおり答申します。

## 南丹市ケーブルテレビ事業の今後の在り方についての答申

南丹市ケーブルテレビ事業の目的は、本市における難視聴地域の解消と民間事業者の参入が見込めない地域における情報格差の是正、あわせて市域の一体感の醸成の一役を担うことである。

国庫補助金や地方債などの財源を活用して整備を行い、地上波テレビ放送の難視聴対策やインターネット環境におけるブロードバンド環境を構築する中で、農業分野での利活用を皮切りに、防災・災害時において市民の生命・財産を守るための情報発信手段としても充実を図られてきた。

特に、4町合併後において、それぞれの地域の取り組みや人々の素顔を発信してきた取り組みは、広大な南丹市にあっては地域住民の一体感の醸成や市民生活の利便性を向上させるなど、多くの成果をあげてきたことは高く評価できる。

一方、本事業にかかる機器設備等の更新や技術革新に伴う設備投資は、これまで以上に多額の財政負担が必要になることや、将来的にも住民ニーズにあった持続可能で経済的に安定したサービス提供を行うことが困難となることが想定される。

あわせて、ケーブルテレビ整備当初は民間事業者による参入が皆無であったが、現在は施設整備を行い、テレビやインターネットサービスを提供するなど、市民の選択肢も増えている。

本審議会では、今後の運用形態や財政面での比較を行う中、南丹市ケーブルテレビ事業の現状や課題等を共有し、本市の難視聴対策やブロードバンド環境の再構築、防災など安心・安全の確保を継続することを基本に民営化も含めた今後の望ましい事業の在り方について検討を行ってきた。

結果、今後におけるケーブルテレビの運営については、民間譲渡の方法を選択することが現実的で望ましいと考える。

よって、本審議会としては、全委員の総意により本事業を民間譲渡することが妥当であると判断する。ただし、自主放送についてはその目的及び役割が的確に果たされるよう、直営での継続を考慮に入れて十分検討されたい。

なお、民間譲渡するにあたっては、次の事項に留意した事業実施を求める

とともに、引き続き市民が快適で豊かな暮らしができる情報通信環境の維持確保に努めていただきたい。

- 1 本市における難視聴地域対策やブロードバンド環境の構築など情報格差の是正という課題に対して、将来的にも安定した地上波テレビ放送サービス及びインターネット接続のサービスを全市域で提供すること。
- 2 行政及び地域情報の発信手段として重要な役割を担っている自主放送番組の制作及び視聴等については、定期的に住民ニーズの調査を行い、現在の品質と内容を基本として継続できるように調整を図ること。  
また、本市の防災能力をさらに高めるため、情報伝達に関する万全な対策の維持確保に努め、住民・行政・地域が平時から地域情報や防災情報を共有し、地域の災害対策の充実に努めること。
- 3 今後、予想される過疎化や少子高齢化等の進展による利用者の減少に伴い、使用料において利用者の負担が過重にならないよう調整を図ること。
- 4 当該情報ネットワークについては、公共のインフラとしても活用が見込まれることから、高い安全性とセキュリティの確保に努めること。
- 5 現ケーブルテレビ加入者には、原則として民間譲渡により新たな費用負担が生じないよう調整を図ること。
- 6 民間譲渡に際しては、加入者をはじめ市民に対して丁寧な説明や対応を行うなど、不安解消への対策に十分努めること。
- 7 民間事業者の選定にあたり、本市の地域活性化に関する対応策及び新たな情報通信技術への対応策や住民の情報活用力向上に寄与することを明記すること。

8 公益財団法人南丹市情報センターの職員について、民間移譲後も本人が希望する場合は雇用が実現するよう配慮するとともに、他の選択を希望する場合についても十分配慮すること。

最後に、今後、ケーブルテレビ事業の民間譲渡をされるにあたっては、事業実施者との協働体制を構築され、本市を取り巻く社会課題の解決に向けた新たな情報通信基盤として全市民の付託に応えられる事業展開を切に期待する。

南丹市ケーブルテレビ事業の在り方審議会 開催内容

開催回	開催日	内 容
第 1 回	令和 2 年 10 月 22 日 (木)	1 委嘱状交付 2 委員自己紹介 3 会長・副会長選出 会長 井上 あい子氏 副会長 山村 隆文氏 4 諮問 西村市長から諮問 5 議題 (1) ケーブルテレビ事業の状況について (2) 意見交換 (3) 審議会の日程について 審議会の開催日時等を決定 第 1 回 10月22日 (木) 第 2 回 11月26日 (木) 第 3 回 12月24日 (木) 予備日 1月28日 (木)
第 2 回	令和 2 年 11 月 26 日 (木)	議題 (1) ケーブルテレビ事業の今後の在り方について意見交換
第 3 回	令和 2 年 12 月 24 日 (木)	議題 (1) ケーブルテレビ事業の今後の在り方について意見交換 (2) 答申内容について 答申内容について協議

南丹市ケーブルテレビ事業の在り方審議会委員名簿

(順不同・継承略)

役 職	氏 名	区 分	選出団体等
会 長	井上あい子	学識経験を有する者	総務省地域情報化 アドバイザー
副会長	山村 隆文	市内各種団体の代表者	京都農業協同組合 園部支店長
	洲上真奈美	市教育委員会の委員	南丹市教育委員会 教育委員
	東古 浩明	市内各種団体の代表者	園部町区長会 元桐ブロック長
	今西 猛	市内各種団体の代表者	八木町区長会 連絡協議会委員
	山内 満	市内各種団体の代表者	日吉町地域自治振興会 副会長
	松村 芳男	市内各種団体の代表者	美山町地域振興連絡協 議会副会長
	野々口二三男	市内各種団体の代表者	南丹市商工会事務局長
	前原 智世	市内各種団体の代表者	園部幼稚園 P T A本部役員
	池田 葉月	学識経験を有する者	京都府立大学 学術研究員
	宮本 亮太	市民公募	公募委員
	片山 享子	市民公募	公募委員